

# ORIC NEWS

# 翔飛 ひしろう

## 入居者紹介



# MEDICAL CRAFTON

メディカルクラフトン株式会社

詳細は5ページをご覧ください

### — 本号の主な内容 —

巻頭言

研修・交流会活動

入居者紹介

入居者の活動・トピックス

新入居者紹介

イベント案内

No.61 (2018.7)

# 「続・経営カレンダー」

公益財団法人 岡山県産業振興財団  
理事長 三宅 昇



偉大な先人や優秀な経営者の言葉を集めて、厚かましくも自分用に作った経営カレンダー。  
一昨年7月発行の「飛翔 (NO.53)」でその一部をご紹介したところ、意外にも評判が良かった(?)  
ので、厚顔無恥を承知で、続編(2年目)の7月分をご披露したい。  
ORIC 入居者の皆さま、未来の名社長さまのお役に立つかどうかは保証しかねるが。

1日	ビジネスモデルは、常に見直しが必要だ。	17日	これからの日本産業の中核になる基本的特性は、複雑な機械、複雑な素材、複雑なインフラ、複雑なサービスだ。
2日	人を相手にせず、天を相手にすべし。天を相手にして、己を尽くして、人をとがめず、我が誠の足らざるところを尋ねべし。	18日	12歳は単なるガキ、13歳はちょっとナイーブ、16歳はニキビ臭いけど、17歳は切ない。19歳はちょっと危険な香りがするけど、20歳になったら何もかも許されてつまんない。
3日	ニーズ収集だけでなく、それを集合化すること。	19日	アイデア探しに特別な才能なんていらぬ。まずは自らの技を知る。そして、①とことん興味を持つ、②間口を拡げる、③トレーニングを欠かさない、④しなやかさを保つ。
4日	見本市や展示会の開催、世界では重要施策という位置づけになっている。中国のGDPの伸びと見本市会場の床面積は、見事に連動している。	20日	一番の強みとなるのは対応力。お客様が困ったとき、欲しいときに対応してくれる力。
5日	困りごとを探すだけでなく、その大きさ(頻度、工数、金額)を知るべき。	21日	ニーズから固めていくと、商品がシンプルになる。
6日	経済成長の要因は、短期的には設備投資や教育投資であり、長期的には技術進歩である。	22日	働くとは、道を究めることだ。
7日	宝くじは無知への課税である。無知への課税は、この世にたくさんある。	23日	農業センサスでは0.1ヘクタールという小面積を基準にして、それ以上の営農をしていれば農家とみなす。そんなアホな。
8日	記憶を良くするコツは、人に教えることである。女性が男性よりも記憶力が良いのは、知りえたことを何でも喋るからだ。	24日	幸福は求めて得られるものではない。機嫌良く暮らして、福を招くしかない。
9日	農業は既に自然の営みではない。極めて人工的な行為だ。田畑で獲れる作物とは、要するに養殖された植物である。	25日	労働生産性向上の努力を怠った日本。韓国・台湾に抜かれ、中国にも労働生産性で抜かれた。
10日	敗者の組織ではなく、勝者の組織になりなさい。 Dレベル：組織に向けた取り組みが見られない。 Cレベル：過去の枠組みの中での改善活動をしている。 Bレベル：過去の枠組みに基づく改善から、革新に向かい始めている。 Aレベル：求める価値を戦略的に考え行動している。 AAレベル：組織全体で学習することで、大きな価値を生み出している。 AAAレベル：革新軌道になって最高の成果を生み続けている。	26日	築城3年、落城1日。
11日	日本力、岡山力を付けよう。	27日	なまじ経験者は要らない。経験者は言い訳をする。「これは、私の経験を活かせるところではない。」
12日	心が成長するのは、不自由な体があるからだ。	28日	これからの地域社会では、地域の自立が求められる。そのために何よりも重要なのは、個の自立であり、自立意識を高めることだ。個の自立がまずあって、個人で出来ないことをNPOやコミュニティ、学校などがやり、それでも出来ないことを市がやり、県がやり、州がやり、最後に残ったのを国がやるべき。
13日	好きなものと嫌いなもの、どうでも良いけど、はっきりさせるべきだ。はっきりさせると、すっきりする。	29日	歴史はみんなを強くする。「時」には秘密がある。「時」に隠された意味を見つけること。「時」の重力を感じる。「時」はいつも同じペースで積み重なっている。昨日が今日よりダメな理由はどこにもない。毎日どこでどんなことをしていても、その1秒1秒に同じ重力がかかっている。
14日	朝一番に遭遇したことは、絶対にポジティブに捉えること。我がものと 思えば軽し 笠の雪	30日	良い顔つきの条件とは、深い素朴さ、柔らかい強さ、大きな透明感。
15日	あいまいさは、なるべく排除しなければならない。	31日	商店街は町に根を張っている植物で、大型店やチェーン店は獲物を求めている動物だ。動物が来て食い荒らし、植物を枯らして去って行けば、町は荒廃する。植物が自分の役割をキッチンと果たし、林や森を作っていけば、町は残れる。
16日	言葉には言霊があり、何度も口にしてしまうと、知らず知らずその気になってくる。		

## ■ 平成30年4月度ORIC交流会

### ●ORIC事務局紹介

#### 「2018年度ORIC運営方針について」

ORIC事務局 一同

平成30年4月より、ORICは大林ファシリティーズ(株)、(株)合人社計画研究所、一般財団法人岡山経済研究所の共同事業体を指定管理者とした運営に移行致しました。

そこで4月の交流会においては、センター長並びにIMからORIC入居企業に向けて、「支援方針」や「2018年度の企画」、「ORIC入居企業への依頼事項等」について直接説明を行いました。

支援方法については、IM自身が持つスキルとネットワークによる課題解決提案に加えて、協力企業との連携による販路拡大支援等を柱とし、ORIC事務局より出張補助と専門家紹介制度を案内する方針です。(※出張補助については下記参照)

出張補助概要 (一部抜粋)	
金額 (上限)	16,000円 (1社半期に1度まで、先着10社まで)
補助範囲	要綱に該当する見本市出展の交通・宿泊費
申請手続き方法	事務所まで相談要。(申請書提出、事後報告要)

また、2018年度企画については協力企業である京都リサーチパーク (KRP) との連携により、「知財ビジネスマッチング」、「医工連携セミナー」を開催予定。その他、月例の交流会の開催を通じて、入居企業に対してメリットのある企画を実施していく予定です。



知財ビジネスマッチング

医工連携セミナー

新体制となった事務局ですが、今後もORIC入居企業への新たなサービス提供に加え、ORIC知名度UP、新たな入居希望者の発掘に向けて誠心誠意努力していく所存ですので、本誌をご覧になられた皆様からのご連絡・ご相談をお待ちしております。今後とも事務局一同宜しくお願い申し上げます。

## ■ 平成30年5月度ORIC交流会 (BBQ)

### ●バーベキュー交流会

5月18日(木)、ORIC中庭で恒例のバーベキュー交流会が天候にも恵まれ、無事開催されました。参加者はORIC入居企業、岡山県産業労働部、(公財)岡山県産業振興財団職員の方々等、総勢61名の参加を頂きました。

バーベキュー会場では入居者間、入居者と支援機関の参加者間、支援機関同士等、様々な交流を図って頂いたものと思います。またORIC卒業企業様も参加頂き、入居当時と今のORICについて色々お話を伺いました。



今回のバーベキュー交流会につきましては、開催準備にご協力頂いた方々並びに、終了後の参加者の皆様の積極的なご協力により、スムーズなイベント開催が出来たものと感じております。ORIC事務局一同より改めてお礼申し上げます。

## ■ 平成30年6月度ORIC交流会

### ● 「洗車の常識を疑え。～Zero Water Project～」

大賀 謙司 氏（株式会社KCBプランニング代表取締役）

6月度の入居企業紹介は、株式会社KCBプランニング代表取締役 大賀 謙司氏により掲題のタイトルで講演頂きました。同社は消費者がイメージしやすい「手洗い洗車の出張サービス」を提供することで、競合するガソリンスタンドや洗車場といった来店を待つスタイルとの差別化が図れることと、岡山県内で出張洗車サービスを提供している企業が無いという観点から、大賀社長が4年前に起業を決定。その後、事業展開を図る中で「水道・電気・洗車場所の確保」「排水・騒音」「洗剤の垂れ流しによる環境汚染」といった問題に直面しながら、同社の現在の「水を使わない洗車」というサービス提供方法に至ったとのこと。



現在では、同社がオリジナル配合した液剤と専用のクロスを利用することで、駐車1台分の駐車スペースがあればどこでも「水なし・傷なし・汚染なしの洗車サービス」の提供をされています（商業施設への出張や法人車両の定期契約にも対応中）。また、今後は同社FC展開中の「機動洗車隊」として全国規模の拡大を図り、同社洗車スタイルの普及に努めたいとのこと。

### ● 「岡山県よろず支援拠点 支援内容説明」

鈴鹿 和彦 氏（よろず支援拠点 チーフコーディネーター）



6月度のセミナーでは、岡山県よろず支援拠点 鈴鹿チーフコーディネーターによる支援内容についてご講演頂きました。近年問題視されている国内中小企業の事業承継問題や人手不足問題への対応について、労働市場における団塊世代の退職者数と新規労働人口の参入者数のギャップをITが担っていく可能性が高い点などを数字を使ってわかりやすくご説明頂きました。経産省のIT投資実績（企業活動基本調査）の調べによると、2010年度にIT投資を開始し、その後IT投資を2013年度まで継続している企業は、2007年度から2013年度まで一度も投資をしていない企業に比べて、2013年度の売上高経常利益率が1.26倍にもなっているようです。

また、「国内の地域別にみた中小企業・小規模事業者の従業者割合」や「中小企業・小規模事業者政策の変遷」を踏まえて「よろず支援拠点のミッション」についてご説明がありました。具体的には、近年小規模企業支援も充実してきており、専門家として適切なアドバイスを行う他に、「中小企業・小規模事業者が抱える問題を解決出来る支援機関に適切につないでいく」とのことです。岡山県よろず支援拠点には様々な専門分野のコーディネーターを配置していること、近時の相談の具体的事例もご紹介いただきました。

2017年度の岡山県よろず支援拠点の来訪相談者数は全国2位となっており、引続き相談体制の強化に努めていきたいとのことでした。

# メディカルクラフトン株式会社

—わが社は医療機器の未来を創造することで社会に貢献します—

## 【創業の経緯】

平成24年度科学技術振興機構（JST）研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）に研究課題「リン酸化プルランを用いた世界初の多目的接着性人工骨の開発」（プロジェクトリーダー：吉田靖弘 北海道大学大学院歯学研究科教授（元 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授）、起業家：松尾健哉、起業支援機関：岡山大学）が採択され、3年間の研究開発期間を経て、平成27年4月1日に岡山大学・北海道大学発ベンチャー企業として「メディカルクラフトン株式会社」を設立しました。JSTの支援事業により設立されたベンチャー企業としては128社目になりますが、本研究開発課題がJSTから日本医療研究開発機構（AMED）に移管されましたので、AMED支援ベンチャー企業としては第1号となりました。

## 【企業ミッション】

「健康寿命の延伸に寄与する」…「予防と治療」は人々の関心事。その領域に新しいテクノロジーやソリューションを導入し、夢を実現するのが、メディカルクラフトンのミッションです。

## 【現業業務】

### 1. 介護事業

ダイヤ工業株式会社から平成29年8月に事業譲渡を受け、ダイヤ工業製品を介護分野に販売しています。

### 2. 抗菌・消臭スプレー事業

これまでの抗菌剤に関する知識と経験をもとに、スプレータイプの「サポーター専科」、「足もと専科」を開発し販売しています。



上市中の抗菌剤  
〔（スプレータイプ）〕

## 【主要研究開発テーマ】

### 1. 無機・有機複合化抗菌剤事業

平成27年から28年まで医工連携事業化推進事業（AMED）に採択され、広島大学・岡山大学・産業技術総合研究所との共同研究

により、無機・有機複合化抗菌剤を開発しました。高分子材料などに混合でき、しかも抗菌性が長時間継続する特徴を活かし、歯科用粘膜調整材や繊維、不織布等に用途展開を図っています。



〔開発中の歯科用粘膜調整材〕

### 2. 自着性樹脂ギプス事業

メッシュ状基布に特殊な樹脂を塗工すると、70℃程度で軟化し、放冷すると硬化・自着する材料を開発しました。自着・引き剥がしを何度も繰り返すことができ、操作性も容易である特徴を活かし、ギプス分野に展開を図っています。

### 3. リン酸化プルラン事業

事業体制を整えるため、第一種医療機器製造販売業と医薬部外品製造販売業を取得しました。具体的な商品開発には長い年月と高額の資金が必要ですので長期戦で臨もうとしています。

## メディカルクラフトン株式会社

代表取締役 松尾 健哉

設立 平成27年4月1日

業種 医療機器・医療機器部外品の開発製造  
介護用品の販売

本社所在地 岡山県岡山市南区古新田 1125

開発拠点 岡山県岡山市北区芳賀 5303  
(岡山リサーチパークインキュベーションセンター)

ダイヤHD株式会社のグループ会社

資本金 1,300万円

役員 4名

従業員 6名

連絡先 TEL 086-282-1400 FAX 086-282-1246

\*平成29年1月31日 第一種医療機器製造販売業取得

\*平成29年12月7日 医薬部外製造販売業取得

## CDW ライフサイエンス株式会社

— 天然素材の探索と新規成分の研究による予防医学 —

CDW ライフサイエンス株式会社は、健康と美容、そして医療技術の融合を目指して2017年1月に設立した会社です。「医療は急速に進んでいますが、病気になってからの医療では、遅いと思いませんか？」の問いかけに、弊社は、病気になることを防ぐ予防医学の観点から、健康・美容に注目して、生化学・分子生物学との融合により、新しい領域を創り出し、リーディングカンパニーとして世の中に貢献してまいりたいと考えています。この考えの基に、研究所では天然素材の探索と新規成分の研究、代謝や遺伝子発現の研究などを行っています。岡山リサーチパークの研究室では、ぶどうを使った素材開発の研究を行っています。弊社の現行販売商品で、飲む美容液の概念で作製された「Le Resveratrol」は、トランス-レスベラトロール、コラーゲンペプチド、岡山県産ぶどう（ピオーネ）皮成分などから構成されています。このドリンクの構成成分を見直し、機能性を更に高めると共に、天然のぶどうの美味しさを持つ新商品の開発を行っています。この商品の機能性を検証することで、健康食品として、更に清涼飲料水、化粧品などへの業務用素材としての販売を計画しています。 <https://cdw-science.wixsite.com/cdw-science>



## 新入居者紹介

平成30年3月に開催された第60回入居審査会により下記企業の入居が決まりました。

入居者名	事業概要	所在地	分野
株式会社 KCBプランニング	・FC加盟店へ提供する高品質・高機能な水なし洗車用洗剤と関連液剤の開発とコンシューマー向けの水なし洗浄・ワックス液剤の開発・販売	岡山市	化学
株式会社 J&Cカンパニー	・中小企業向けビジネス改革プラットフォーム「つながるワークス」製品開発	岡山市	IT
株式会社 ミスターサービス	・内職マッチングサービスの開発	岡山市	IT

# 岡山イノベーションコンテスト2018

主催 中国銀行・山陽新聞社

開催日	平成30年11月24日(土) 13:00～16:30
開催場所	岡山シンフォニーホール(ファイナルステージ)
エントリー期間	平成30年5月1日(火)～8月17日(金) *締切日までに必着
エントリー方法	エントリーシート記入の上、郵送またはメールにて下記応募先へ送付。 応募の詳細はこちらから ⇒ <a href="https://www.oi-project.jp/">https://www.oi-project.jp/</a>
応募先	岡山イノベーションプロジェクト協議会(山陽新聞社内) 〒700-8634 岡山市北区柳町2丁目1番1号 TEL:086-803-8106 メール:info@oi-project.jp

岡山イノベーションコンテストとは、岡山での起業・新事業創出を官民一体となって支援する「岡山イノベーションプロジェクト」におけるビジネスプランコンテストです。

岡山イノベーションプロジェクトは、岡山県内企業・団体が連携し、「創業者支援のプラットフォームの確立を行い、創業促進を図ること」と、「学生部門を設けることにより、学生や進路指導教員と協賛企業の接点を作り、地元学生が地元企業への就職をする機会を拡大を図ること」を目的としています。同プロジェクトは「①優秀な実業家を発掘、育成する岡山イノベーションスクール」と、「②優れたビジネスモデルをコンテスト形式で評価する岡山イノベーションコンテスト」の2つを事業の柱とし、イノベーターの全面的なサポート体制を整備することにより、本質的な地方創生の実現を目指します。

これから起業を検討している方(高校生以上の学生も可)、既に起業している方(新しいビジネスプランを検討している方含む)、是非コンテスト応募をご検討下さい。

革新的なビジネスプランコンテスト  
**岡山イノベーションコンテスト2018**  
11/24 [土] 13:00～16:30 @岡山シンフォニーホール  
エントリー募金! 5/1(火)～8/17(金) 200万円  
詳しくはWebサイトをご覧ください! [www.oi-project.jp](http://www.oi-project.jp)

暮らしに変化をもたらす革新的なビジネスプランや新しい技術・サービスに挑戦する人材を支援し、その活動を広く知らせることで地域全体にイノベーションの風を起こします。

### 募集要項

募集部門	募集内容
ビジネスプラン部門	高校生部門 高校生が中心となる事業を盛り込んだビジネスプランを募集します。
	大学生部門 大学・専門学校生が中心となる事業を盛り込んだビジネスプランを募集します。
ビジネス部門	一般公開部門 家族の生活用品・サービスに関与もしくは提供プロセスが事業する実証性の高い社会人によるビジネスプランを募集します。
	スタートアップ部門 家族生活サービスで事業を成長させている事業や、既存のサービスを刷新し、ビジネスを構築させている事業の事例を募集します。

**応募期間**  
平成30年5月1日(火)～8月17日(金) ※応募締切日です。

**応募方法**  
エントリーシートに必要事項を記入し、郵送またはメールにて応募先まで送付。  
応募書類: ①応募用紙(1枚)、②応募書類(15枚)、③応募写真(100×100mm)1枚  
応募費用: 無料 ※応募書類の郵送料は、応募者ご自身の負担となります。  
応募先: 岡山イノベーションプロジェクト事務局(山陽新聞社内) 〒700-8634 岡山市北区柳町2丁目1番1号 電話:086-803-8106 メール:info@oi-project.jp <https://www.oi-project.jp/>

**応募資格**  
応募資格は、次のいずれかの条件に該当した事業者、個人とする  
①岡山地域の出身者、または岡山地域に在住、且つ岡山中級生以上の者  
②対象地域に事業を営む企業経営者、または個人  
③対象地域で創業または創業予定である  
【対象地域】岡山県、兵庫県(下記5市2町)  
岡山県: 岡山市、瀬戸市、津山市、津和野町、井原市(真庭郡)、赤松市  
兵庫県: 高砂市、姫路市  
※岡山県外に在住する場合は、岡山県外に在住する方として応募して下さい。  
※応募書類は必ずA4サイズにしてください。

**入賞特典**  
優秀な作品は岡山県知事表彰状や事業内容に応じたポイントが贈呈され、ファイナルステージの岡山イノベーションスクール事業に招待されます。

部門	賞状内容	入賞特典
ビジネスプラン部門	高校生部門 大学生部門 一般公開部門	★賞状+¥10万円特待 ★賞状+¥10万円特待 ★賞状+¥10万円特待
ビジネス部門	スタートアップ部門 一般公開部門	★賞状+¥10万円特待 ★賞状+¥10万円特待

★賞状+¥200万円特待

お問い合わせ先: 岡山イノベーションプロジェクト事務局 TEL:086-803-8106 メール:info@oi-project.jp

# 入居者 募集中!!



研究室小



研究室大

## 創業・第二創業を希望する方への支援が充実!!

- 毎月の賃料が半額になる制度（創業5年未満かつ入居後3年間）
- 岡山県工業技術センターの設備使用料が半額になる制度（入居後3年間）
- 低価格で顧問専門家へ相談できる制度 など

## ■ 施設使用料・空き室状況

(2018年6月末現在)

施設区分	面積	使用料の月額	減額後の使用料※	部屋数	空き室数
研究室小	約 25 m <sup>2</sup>	46,280 円	23,140 円	24	1
研究室大	約 50 m <sup>2</sup>	90,510 円	45,255 円	29	7
試作開発室	約 100 m <sup>2</sup>	180,000 円	90,000 円	6	2
創業準備室	5 m <sup>2</sup> /ブース	5,000 円		6ブース	6ブース

※創業5年未満の企業及び個人は、入居後3年間は減額になる制度があります。

## ■ 次回募集

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.oric.ne.jp>

